

地域からの理解を深める
フードバンク活動と
フードドライブ活動



NPO法人ふうどばんく東北AGAIN

ふうどばんく東北AGAINとは・・・



ふうどばんく東北AGAINとは・・・

- ・2008年に創設された東北一古いフードバンク団体
- ・最初はパン屋さんがロスになるパンを使って支援を始めた

ミッション

- ・食の支援を通して様々な社会課題や貧困問題に立ち向かう
- ・フードロス削減に取り組む

活動理念

- ・もったいないをありがとうの笑顔へ
- ・誰も取り残されない社会

ふうどばんく東北AGAIN 3つの柱



フードバンク事業

- ・生活困窮者支援
- ・食品ロス・環境問題

コミュニティ事業

- ・子ども食堂
- ・プレーパークなど第三の居場所作り
- ・地域イベントや啓もう活動
- ・学習支援(寺子屋)

困りごと支援

- ・生活相談
- ・各種制度の情報共有
- ・行政や各種機関への連携支援等

13年に渡って「安心して暮らせる社会づくり」を目指してきたが・・

2020年に遂に資金難で継続が難しくなる..

フードバンクは無償提供された食料を無償で困窮する人に配る活動。
活動のどこからも収入が得られないことで創業以来、経営難が続いていました。

そうした中、新聞やメディア報道を見た篤志家から600万円が届き、それに続き個人や 企業の方から次々と寄付や寄贈の申し出が届きました。時を同じくして..

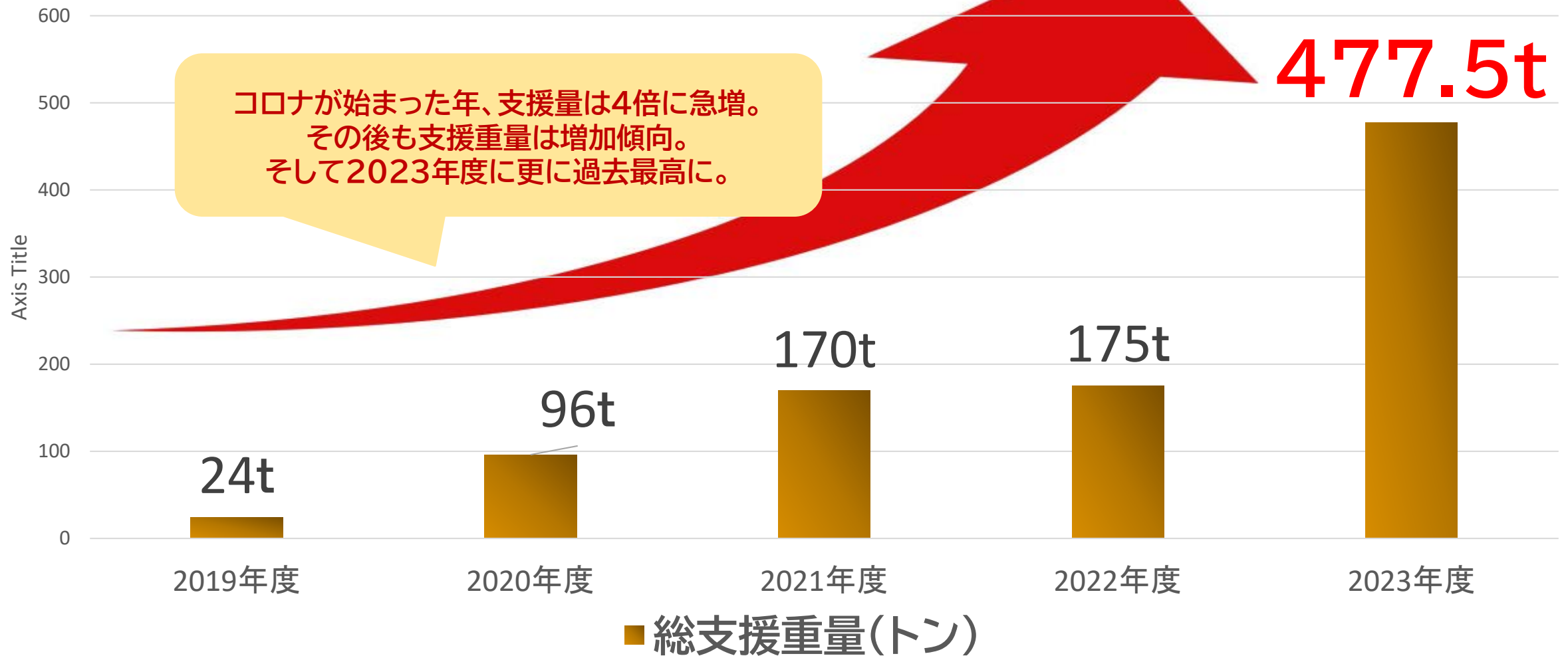


資金難の原因
(事業総額約700万)
・賃料・光熱費・ガソリン代など

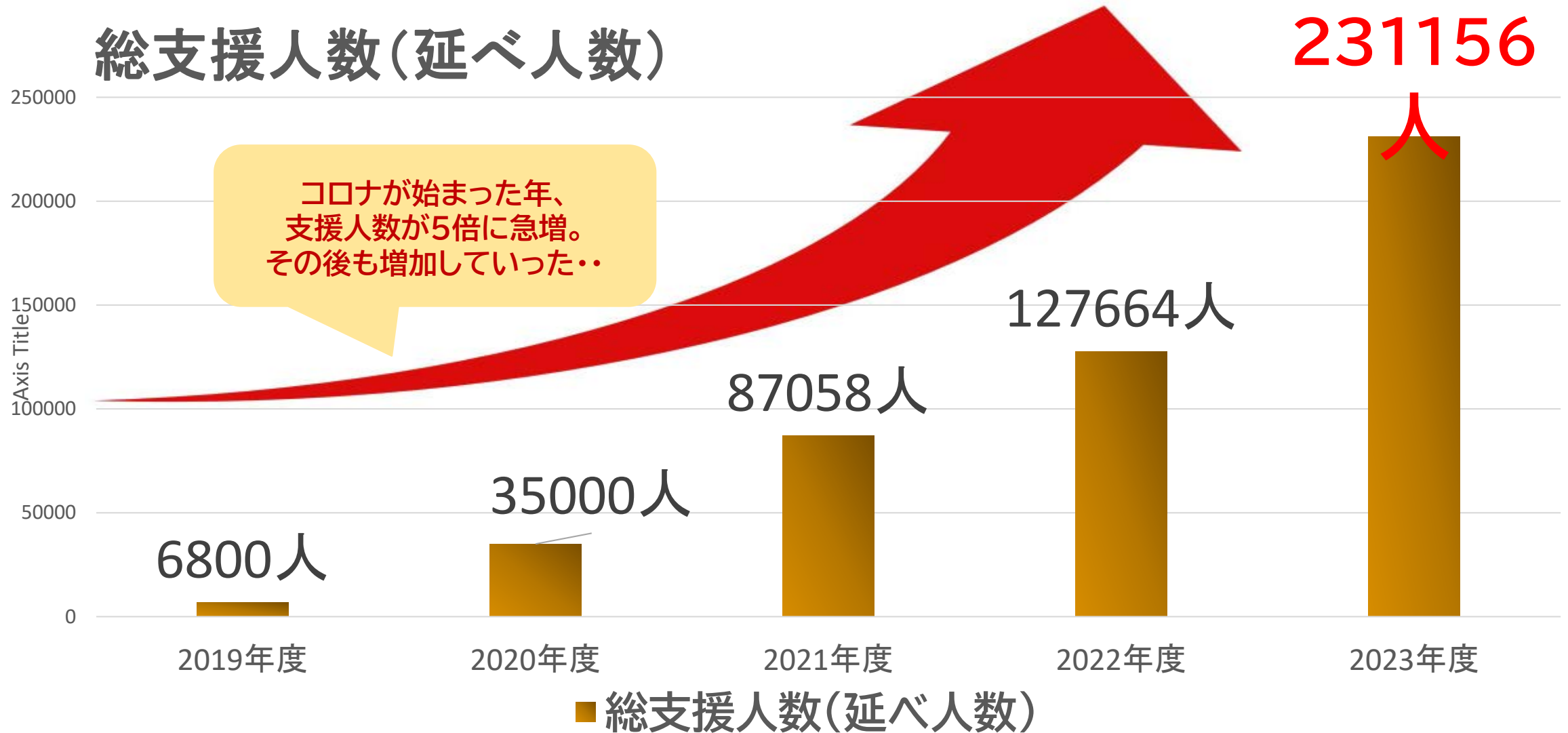


資金難と共に襲ってきたのはコロナによる支援要請の急増・・

総支援重量(トン)



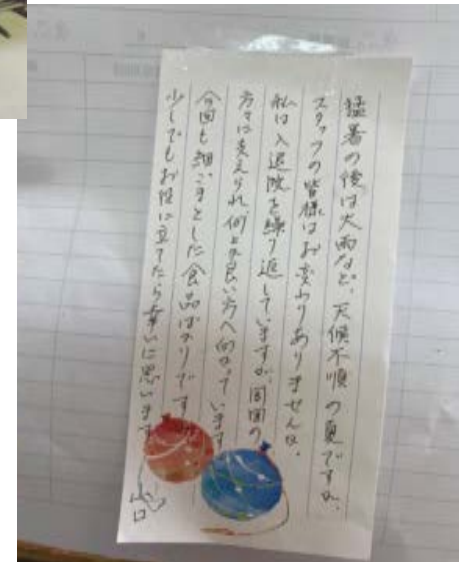
総支援人数もコロナ禍に突入して年々増加・・



増加し続ける支援を支えたのは、個人・企業など沢山の人の寄贈や応援

年度	総寄贈重量(トン)
2019年	24t
2020年	92.8t
2021年	176t
2022年	175t
2023年	485.9t

コロナ以降支援要請は年々増加していきましたが、寄付と寄贈が集まった事で支援を続けることが出来、昨年は最大になりました。



応援してくれる人・企業を増やすため、毎日の活動を発信！

「もったいない」を「支援の輪」に

FOODLOSS FOODBANK

まだ食べられる食品が廃棄される「食品ロス」。その一方で、日々の食べるものに困っている人がある。「もったいない」を支援につなげる「フードバンク」の活動に注目。

ふうとばんく東北AGAIN

愛のこもった手作りのお弁当で困る人も減らされますように...そんな願いが込められている。

この数字、なんだろう？

66% 23% 11%

詳細は次のページへ

毎週水曜日は「ひとり親支援弁当の日」
キッチン横と呼ばれるボランティアの方やスタッフの方で35食分のお弁当を作り、必要とする人の手に届ける。

12月18日から1ヶ月間、各取市フードドライブがスタートします！

初売り特集
各店のお得情報をお見逃しなく！

色々な形で色々な年齢層に届くような広報を心掛けました。



活動に欠かせないボランティアメンバーは
報道や新聞を見て集まってくれました・・現在のあがいんの「宝」です！



ボランティア登録者は
100名以上、毎日シフト
で活動しているメンバー
は30名ほどいます。
そのほとんどが
ガソリン代の実費だけで
活動。退職後の元気な
シニア世代が多く在籍！

必要な倉庫も企業協賛(無償)で13か所整備



 **タカラ米穀株式会社**



白真倉庫



社会福祉法人

東松島福祉会



大量の寄贈を受け入れるために必要だった倉庫。企業の協力で全温度帯の倉庫やパレット搬入が可能な倉庫など、宮城県内の各所に13か所ほど整備することができました。

2023年度フードドライブ637件、25トンの食品ロス削減

行政×あがいんフードドライブ

市町村との協同事業による
フードドライブ・・・5自治体が参画



宮城県



仙台市
フードドライブ

富谷市



企業・学校等×あがいんフードドライブ

フードドライブ 常設設置協力企業・・・16社
フードドライブ常設設置箇所は
現在、宮城県内外に約55箇所以上

イオンモール
新利府

生活協同組合
COOP あいコープみやぎ

FRESCO

FUJISAKI

khb5
あすとつながるミテケロ 5ch

S-PAL
SENDAI

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

ネットトヨタ仙台

マチのほっとステーション
LAWSON

ヨークベニマル



2023年度の総寄贈重量は485.9トン、寄贈件数2037件
うちフードドライブによって寄贈件数637件、
約25トンほどの食品ロスの削減を行いました。

食品ロス・環境問題に取り組んでいます

フードロス削減に向けた活動に取り組んでいます

食品ロス削減推進サポーターとして活動
内閣府主催地方創生SDGsプラットフォーム会員
富谷市ゼロカーボンシティ推進委員
みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議会員



地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



食品ロス削減推進サポーター講習の様子



イオンモール利府にフードドライブ設置

応援してくれる地域への恩返しや子どもたちへ向けた 出前授業や啓もう活動を大切にしています！



次世代を担う子どもたちに
色々な形でフードバンクを
知ってもらう事が
フードロス減らし、
豊かに暮らす手掛かりに…！

- 地域の子どもたちに向けたお祭りやイベント
- 寺子屋
- 学校や地域の子どもたちに向けた出前授業や講演活動など
- 金曜日のこどものあそび場「とみやっこプレーパーク」

いつもご支援頂いた皆様ありがとうございます
これからも応援・ご協力よろしくお願いします！！



食品ロス問題に取り組むと共に
沢山の人を支える活動をしてきた
当団体ですが、その活動を支えてくれた
のもまた「沢山の人」でした。

フードバンクは「最後の砦」と言われていますが、日本ではまだまだ認知度が低い
無償の活動。これを収益の無い団体が
続けていくのには限界があります。

一人一人の出来ることに限界はあっても、
色々な人と一緒に、「誰も取り残されない
社会」を作る・・・これが私たちの目標です。